楕円積分と楕円関数 — おとぎの国の歩き方 武部尚志著

正誤表

p.87 (5.39) 式:

(誤) $c^2 = \dfrac{b^2(2\lambda - b^2)}{(\lambda - b^2)^2}$,

(正) $c^2 = \dfrac{2\lambda - b^2}{(\lambda - b^2)^2}$,

p.94 10 行目:

(誤) $\sqrt{z}$ は $-\sqrt{r}e^{i(2\pi)/2} = -\sqrt{r}$.

(正) $\sqrt{z}$ は $\sqrt{r}e^{i(2\pi)/2} = -\sqrt{r}$.

p.223 5 行目:

(誤) $a_M \neq 0$, $b_N \neq 0$ となる

(正) $a_M \neq 0$, $i < M$ ならば $a_i = 0$, $b_N \neq 0$, $j < N$ ならば $b_j = 0$ となる

p.231 (15.38) 式の下:

(誤) この右側の式

(正) この二番目の式

p.242 下から 8 行目〜 7 行目:

(誤) v_0 とその近傍 U_0 をうまく取れば、f は U_0, $U_0 + a_0$, ..., $U_0 + a_N$ という $N + 2$ 個の点の近傍 v_0, $v_0 + a_0$, ..., $v_0 + a_N$ で正則になるようにできる。

(正) v_0 とその近傍 U_0 をうまく取れば、f は v_0, $v_0 + a_0$, ..., $v_0 + a_N$ という $N + 2$ 個の点の近傍 U_0, $U_0 + a_0$, ..., $U_0 + a_N$ で正則になるようにできる。

p.283 (19.22) 式最後:

(誤)

$$\begin{aligned}\theta_{11}(u,\tau) &= \cdots \\ &= 2q^{1/4}\sin(\pi u)\prod_{n=1}^{\infty}(1-q^{2n})\prod_{n=1}^{\infty}(1-2q^{2n}\cos(2\pi u)+q^{4n}),\end{aligned}$$

(正)

$$
\begin{aligned}
\theta_{11}(u,\tau) &= \cdots \\
&= -2q^{1/4}\sin(\pi u)\prod_{n=1}^{\infty}(1-q^{2n})\prod_{n=1}^{\infty}(1-2q^{2n}\cos(2\pi u)+q^{4n}),
\end{aligned}
$$